

着付け職種技能検定 2 級学科試験

令和 7 年 6 月 1 0 日 (火)

一般社団法人全日本着付け技能センター

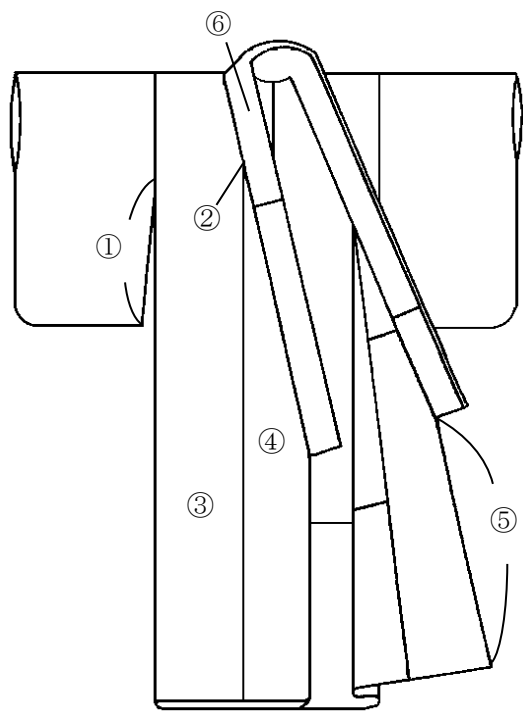
問題 1. 服飾の歴史について、下記の中から適当なものを 1 つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 貫頭衣
2. 十二単
3. 友禪染

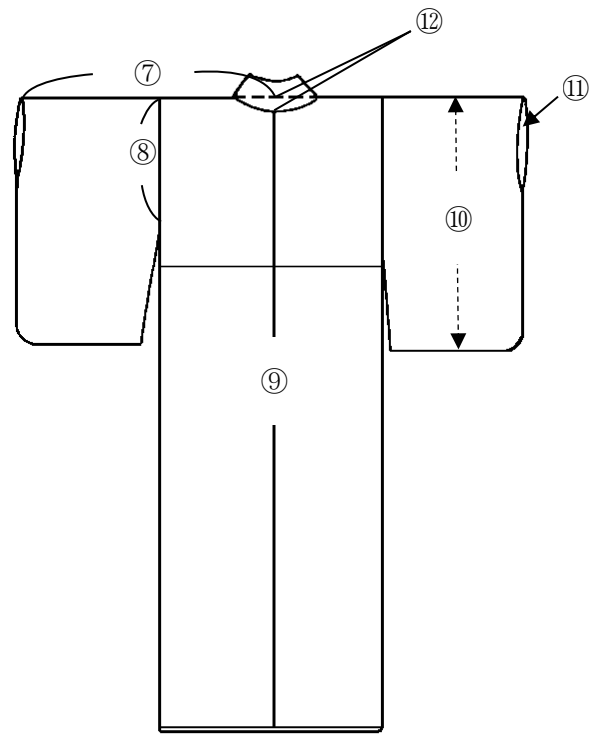
ア. 平安時代	イ. 昭和時代	ウ. 弥生時代	エ. 江戸時代	オ. 大正時代
---------	---------	---------	---------	---------

問題 2. 次の着物の各部位の名称について、それぞれの語群の中から適当なものを 1 つずつ選び、記号を記入しなさい。

I. 女物袷(前)



II. 女物袷(後)



〔 語 群 I 〕

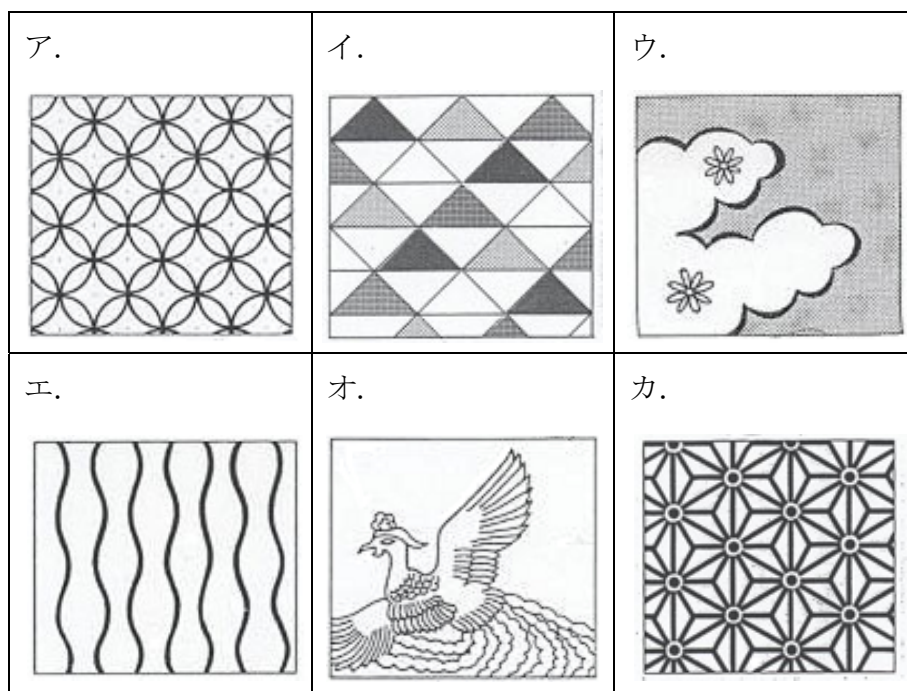
ア. 共衿 (掛衿)	イ. 前身ごろ	ウ. 衽下り
エ. 抱幅	オ. 衿下 (棲下)	カ. 衽
キ. 身八つ口	ク. 振り	ケ. 剣先

〔 語 群 II 〕

コ. 後身ごろ	サ. 脇縫い	シ. 背縫い
ス. 袖丈	セ. 袖幅	ソ. 袖付
タ. くりこし	チ. 衿	ツ. 袖口

問題3. 次の代表的な古典文様の名称について、下記の中から適当なものを1つずつ選び、記号を記入しなさい。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 鳳凰 | 2. 雲取 | 3. 麻の葉 |
| 4. 七宝 | 5. 鱗 | 6. 立涌 |

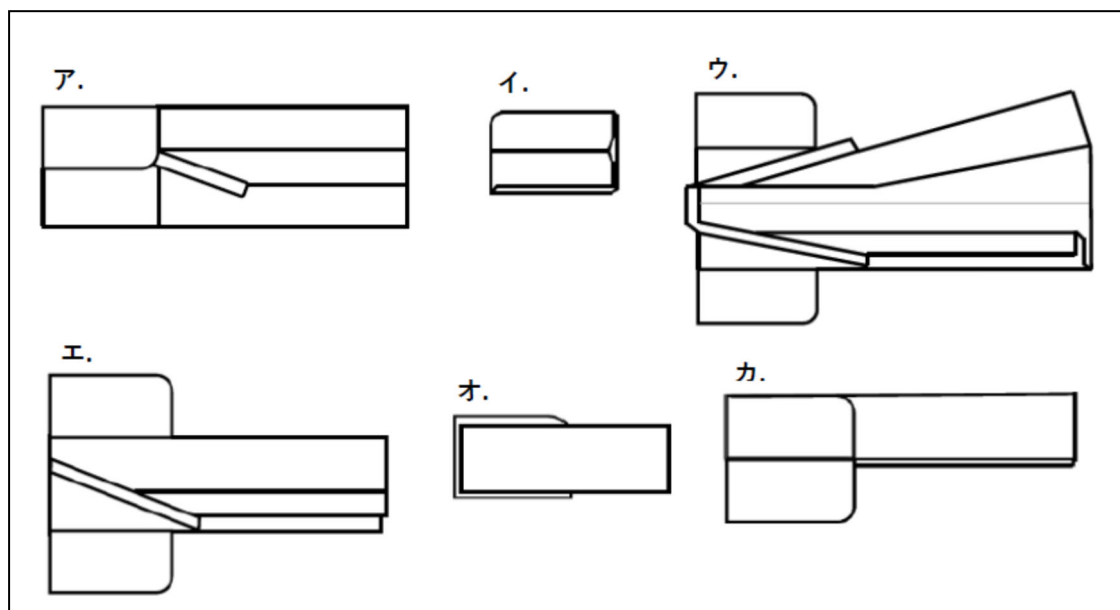


問題4. 次の男女の着物の違いを述べた文章について、正しい方を選び記号を記入しなさい。

1. 男物の着物はおはしより分が（ア. あり イ. なく）、（ウ. 身丈 エ. 着丈）に仕立ててある。
2. 女物の着物には身八つ口が（ア. あり イ. なく）、（ウ. 人形 エ. 振り）がある。
3. 女物の着物にはくりこしが（ア. あり イ. なく）、また、（ウ. 身丈 エ. 着丈）に仕立ててある。

問題5. 長着（本だたみ）のたたみ方について、下記の図の中から必要なものを選び、正しい順序になるように並べて、記号を記入しなさい。

(1) → (2) → (3) → (4)



問題6. 次の織物について、あてはまる説明文を下記の中から1つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 縮緬

2. 塩瀬

3. 紬

ア. 玉繭、真綿、くず繭などを使用して織った、平織の絹織物。

イ. たて糸に撚りのない生糸、よこ糸に撚りの強い生糸を用いて平織にしたのち、特殊な液体に入れて煮て精錬して仕上げた絹織物。「しぼ」という凹凸がある。

ウ. からみ織りという織り方で、二本のたて糸が一组になって、よこ糸と交差するたびに左右入れ替わってよじれるために、よこ糸とたて糸の間に隙間ができて、仕上がったものは網のように軽くて透かし目ができる。

エ. 羽二重地の厚い絹織物。布面によこ畝が現れるのが特徴。

問題7. 次の染めの手法にあてはまるものを下記の中から2つずつ選び、記号で記入しなさい。

1. 先染め

2. 後染め

ア. 絹

イ. 紗

ウ. 紬

エ. 縮緬

問題 8. 着物の用途、格等に関する次の記述のうち、誤っているものを2つ選び、記号を記入しなさい。

- ア. 新郎の袴下の帯は、兵児帯をする。
- イ. 大島紬の訪問着は、礼装にはならない。
- ウ. 留袖に合わせる帯は袋帯がよい。
- エ. 小紋に袋帯を合わせると礼装になる。

問題 9. 次の文章のうち正しいものを1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. 黒留袖の紋は、五つであれば縫紋でもよい。
- イ. 紬に五つ紋をつけると正式礼装になる。
- ウ. 背紋一つと後袖紋二つで、三つ紋となる。

問題 10. 次の着物に適した帯を下記の中から選び、記号を記入しなさい。

- 1. 女物の小紋
- 2. 男物の浴衣
- 3. 中振袖

ア. 兵児帯	イ. 袋帯	ウ. 名古屋帯
--------	-------	---------

問題 11. 次の文章の空欄に最も適当なものを下記の中から 1 つずつ選び、その記号を記入しなさい。

1. (①) は絞り、無地などがあり、装飾的な意味合いが強い。
2. (②) は、比翼衿を略したもので、着物の衿の下にもう一枚重ねる衿のことをいう。
3. (③) は、塩瀬が一番格が高く、縮緬より上である。
4. 白の丸ぐけの (④) は礼装用として用いられる。

ア. 裾よけ	イ. 帯板	ウ. 半衿
エ. 帯締め	オ. 伊達衿	カ. 帯揚げ

問題 12. 次の着物と小物の合わせ方のうち、正しいものを 2 つ選び、記号を記入しなさい。

ア. 黒のエナメルの草履	_____	喪服
イ. 黒の帯揚げ	_____	色留袖 (染め抜き五つ紋)
ウ. 色柄物の帯締め	_____	黒留袖
エ. 色物の帯揚げ	_____	訪問着
オ. 白扇	_____	新郎紋服

問題 13. 次の着物の着用時季について、() にあてはまる最も適当なものを、下記の中から 1 つずつ選び、記号を記入しなさい。

1. 小紋の単の着物は (①) に着用する。
2. 紵の訪問着は (②) に着用する。
3. 紬の袷の着物は (③) に着用する。

ア. 10月から5月	イ. 9月から3月	ウ. 7月と8月
エ. 8月のみ	オ. 5月から10月	カ. 6月と9月

問題 14. 着物の着付けをするときの心得として、正しいものを2つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. ひも類は、首や肩にかけて作業をする。
- イ. 身なりは特に注意する必要はなく、素足でもよく、時計やアクセサリ類を外す必要は無い。
- ウ. 着付けを始める前には丁寧に一礼をする。
- エ. 着付けをする時のクリップや小物は、着物用がなければ代用品（洗濯ばさみ、生ゴム等）を使用しても良い。
- オ. 着付けをする際には、着物や帯や小物を踏んだり跨いだりしないよう大切に扱う。

問題 15. 次の記述のうち、正しいものを1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ア. パーマネントウェーブ・結髪・化粧等の方法により容姿を美しくすることは、美容師でなくとも業として行うことができる。
- イ. 美容師免許がなければ、花嫁の結髪・化粧を業として行うことができない。
- ウ. 美容師免許を取得しなくても、全国どの都道府県でも美容を業として行うことができる。
- エ. 美容師免許がなければ、有料で着物を着付けることができない。

全日本着付け技能センター

2級学科試験【模範解答】

令和 年 月 日()

受験番号	—
------	---

氏名	
----	--

問題1 (各2点)

1 ウ	2 ア	3 エ
-----	-----	-----

問題2 (各2点)

1 ク	2 ケ	3 イ	4 カ	5 オ	6 ア
7 チ	8 ソ	9 シ	10 ス	11 ツ	12 タ

問題3 (各1点)

1 オ	2 ウ	3 カ	4 ア	5 イ	6 エ
-----	-----	-----	-----	-----	-----

問題4 (各1点)

1	イ	エ	2	ア	エ	3	ア	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題5 (各2点)

1 ウ	2 エ	3 カ	4 オ
-----	-----	-----	-----

問題6 (各2点)

1 イ	2 エ	3 ア
-----	-----	-----

問題7 (各2点)

1	イ	ウ	2	ア	エ
---	---	---	---	---	---

問題8 (各2点)

ア	エ
---	---

問題9 (2点)

ウ

問題10 (各2点)

1 ウ	2 ア	3 イ
-----	-----	-----

※順不同

問題11 (各2点)

1 カ	2 オ	3 ウ	4 エ
-----	-----	-----	-----

問題12 (各2点)

エ	オ
---	---

※順不同

問題13 (各2点)

1 カ	2 ウ	3 ア
-----	-----	-----

問題14 (各2点)

ウ	オ
---	---

※順不同

問題15 (2点)

イ
